

## ⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-149346

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>B 60 R 21/20  
B 60 K 37/00

// B 60 R 7/06

識別記号

J  
B  
G

庁内整理番号

7626-3D  
8108-3D  
8108-3D  
7149-3D

⑭ 公開 平成2年(1990)12月19日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 自動車のエアバッグ装置

⑯ 実 願 平1-59175

⑰ 出 願 平1(1989)5月24日

⑱ 考 案 者 平 島

功

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

⑲ 考 案 者 高 野

成 史

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

⑳ 出 願 人 マツダ株式会社

広島県安芸郡府中町新地3番1号

㉑ 代 理 人 弁理士 川 崎

仁

## ㉒ 実用新案登録請求の範囲

インストルメントパネルの助手席側の所定位置に開口が形成されており、この開口の部分に、エアバッグおよびこのエアバッグを収納するケーシング等を有するエアバッグユニットが配設されており、前記インストルメントパネルの前記開口の部分には、該インストルメントパネルの他の部分にほぼ連続するカバー部材が設けられてなる自動車のエアバッグ装置において、前記カバー部材は、水平方向に延びる脆弱部が形成され、エアバッグ展開時に、該エアバッグの展開力により該脆弱部から上方部分と下方部分に破断されて、観音開き様に開放することができるようになっているとともに、この開放に先立つて、少なくとも前記下方部分が略くの字状に折り畳まれるように構成

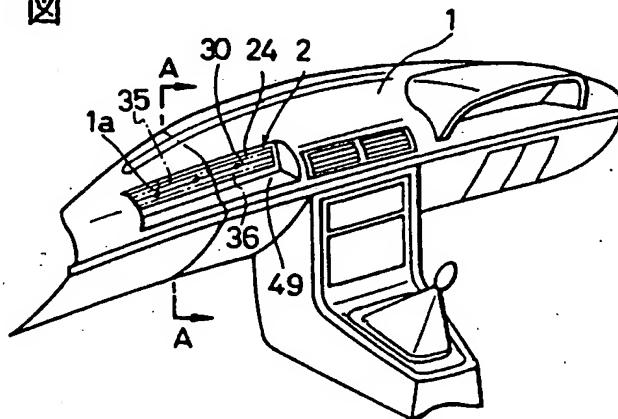
されていることを特徴とする自動車のエアバッグ装置。

## 図面の簡単な説明

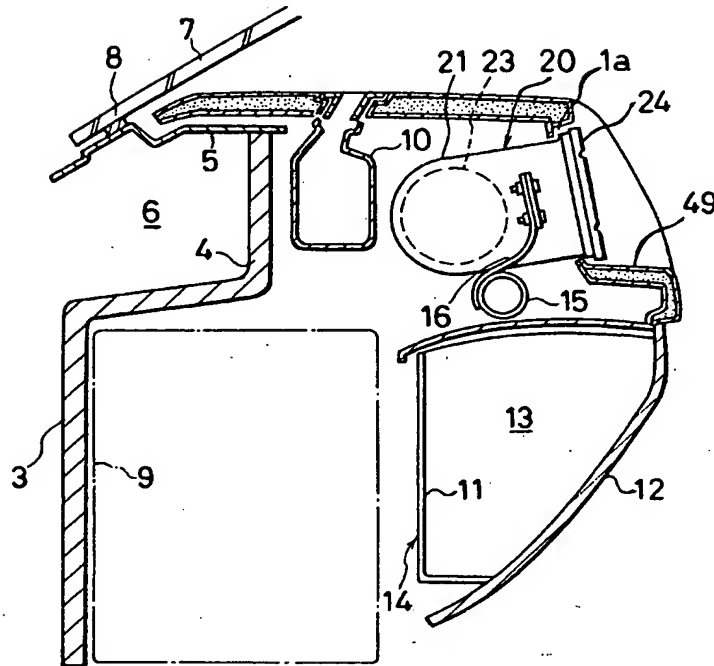
第1図は、本考案の実施例によるエアバッグ装置が組み込まれた自動車のインストルメントパネルを示す図、第2図は、第1図の線A-Aに沿う断面図、第3図は、上記エアバッグ装置のエアバッグユニットの乗員側の部分の拡大断面図である。

1……インストルメントパネル、1a……開口、2……エアバッグ装置、20……エアバッグユニット、24……リッド、30……脆弱部、31……上方部分、32……下方部分、36……ヒンジ部、32a……第1部分、32b……第2部分、48……付勢部材、49……棚部。

第1図



第 2 図



第 3 図

